



野田首相を選出

2日にも新内閣



衆院本会議の首相指名選挙で第95代首相に選出された民主党代表の野田佳彦氏＝30日午後1時37分

民主党の野田佳彦新代表(54)は30日午後、衆院本会議での首相指名選挙で菅直人首相の後継となる第95代、62人目の首相に選出された。新内閣は9月2日にも発足する見通しだ。国民新党との連立を継続し、当面は東日

本大震災からの本格復興に向けた2011年度第3次補正予算案の成立や、東京電力福島第1原発事故の収束に全力を挙げる。参院で野党が多数を占める「ねじれ国会」に伴う国政停滞の打開に向け

て、自民、公明両党との協調態勢を築けるかが課題となる。菅内閣は午前9時の閣議で総辞職した。衆院本会議での投票結果は野田佳彦民主党代表308票、谷垣禎一自民党総裁118票、山口那津男公明党代表21票、志

位和夫共産党委員長9票、福島瑞穂社民党党首6票、渡辺喜美みんなの党代表5票、平沼赳夫たちあがれ日本代表4票、小沢一郎民主党元代表1票、海江田万里経済産業

9月11日には首相就任後初の大型選挙となる岩手県知事選が投票される。外交面では9月下旬に米ニューヨークで開催される国連総会に出席予定。日本側はオバマ米大統領との会談の調整を急いでいる。11月3、4両日はフランスで20カ国・地域(G20)首脳会合、同月12、13両日はハワイでアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議も予定されている。

野田氏は民主党代表選の論戦で、復興財源を増税でまかなう必要性を主張。ただ、増税時期の明言を避け、経済への影響を踏まえて判断するとした。子ども手当見直しなどをめぐる自民、公明両党との3党合意は順守する方針。エネルギー政策では「安全性を確認した原発の活用で電力を安定供給する」と「脱原発」とは一線を画している。